

# 盛岡地方運輸協定期委員会開催される！

## —やはり、議論の中心は検修外注化—

2009年11月28日(土)13時から、盛岡運輸協議会定期委員会が盛岡国労会館内で開催されました。定期委員会は、座長に畠山信吾さん(盛岡運輸分会)を選出し、議事次第に沿って進められました。



佐藤・盛岡運輸協議長のあいさつは、現在の日本がおかれている情勢について端的に話し、特に非正規労働者の解雇問題と大企業の責任について強調され、貨物労働者への年末手当回答に怒りの発言もありました。最後に、検修の外注化問題にも触れ、跳ね返す運動が求められているとして本日の定期委員会で大いに議論をと呼びかけ、締め括りました。



来賓として挨拶にたった盛岡地本・佐々木書記長からは、先般行われた盛岡地本大会の報告と当面する闘いについての発言がありました。

今回の大会では、役員全員再任となる。

JR不採用問題について、1047命中すでに59名が道半ば残念ながら他界した。早急に解決に向けた闘いが必要。国会を巡る今後の取組みと署名活動のお願い・自治体決議の上積みを進める。

最後に、来年12月開業予定の東北新幹線新青森駅開業に合わせ

た平行在来線存続運動の取組みにも触れ、開業前の準備段階で会社側からまだ具体的な考えが出されていない中、国労としても希望調書に取り組むこと、早急に考え方を出させる行動もとって行きたいと述べ、不当労働行為をさせないようにしていきたいと結びました。

来賓として東日本運輸協・木立議長から東日本運輸協議会の定期委員会後、力を入れている安全問題と今回の検修外注化提案については、その狙いとこの施策に対する基本的なスタンス及びこの間の運動として正確な提案内容の把握と、職場で大いに議論し他労組組合員を巻き込む風を吹かせ、反対運動を大きくして行こうと呼びかけました。



盛岡運輸協議会は、入念な準備と豊富な資料を定期委員会に用意し、参加された委員は、資料を参照しながらの発言が相次ぎ、その中でも、やはり検修外注化問題に対する意見が多く出された。殆どの職場が外注化になる提案だが、そうになると自分たちはどうなるのか心配。労働条件の悪化につながる。

職場集会で組合員に意見を求めているが、説明も行われていないのでまだピンとこない。全体像のイメージが浮かんでこない。



他労組は、情報等殆ど動きが見えない。職場では、国労の掲示板が注目されている。

貨物は、年末手当1.575ヶ月・10年連続ベアゼロと大変な状況だ。今年のダイヤ改正で仕業が日勤化され、夜の対応が出来なくなってしまい、会社側と話したが最悪運休でもかまわないという返事。これが利用者に対して責任ある態度か。現在、非常呼び出しが増えている。組織拡大で他労組の嫌がらせ行動は無いのか。ここ盛岡では、まだまだ蔓延っていると聞いている。

新幹線新駅開業の関係で、青森から盛岡に多数配転者が来ている。開業後は青森に配転される部分が出てくると思うが、振分け時に差別等が無いかが心配している。等々の意見・質問が出され、回答できる部分については来賓役員が行い、集約しました。

続いて役員改選が行われ、新たな三役体制が確立されました。

議長 佐藤 英雄(一ノ関運輸区)  
副議長 高橋 清光(青森車両センター)  
副議長 湯沢 等(盛岡運輸区)  
事務長 川原 昭(盛岡新幹線車両センター)  
事務次長 大山 厚(一ノ関運輸区)

今年一年間皆さんと共に力を  
合わせて頑張ります！  
よろしくお願い致します！

最後に、用意された委員会宣言(案)を読み上げて全体で確認し、議長の「団結ガンバロー」で終了しました。

### 今年退任された役員

事務長・盛田憲至さん・事務次長・那須正吉さん 年齢による勇退  
副議長・高橋涼さんは新たな任に着かれます。



盛田さん、那須さん今まで  
運転協議会を支えていただき  
ありがとうございました。  
今後ご指導をよろしくお願い  
いたします！

盛岡運転協議会の皆さん今後も力を合わせて頑張らしましょう！

